

議事録						
業務件名	須崎市公共下水道施設等運営事業					
日 時	令和 3 年 2 月 24 日 (水)		自 13:30 ~ 至 14:30			
出席者	須崎市 建設課 5 名					
	須崎市 環境保全課 1 名					
	須崎市 農林水産課 1 名					
	(株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 6 名					
打合せ場所	須崎市役所	記録作成者	CPS			
資料	・令和 3 年 1 月度モニタリング定例会資料 (CPS)					
打合せ事項、対策・合意事項等						
令和 3 年 1 月度モニタリング定例会						
1.須崎市及び CPS の出席者を確認した。						
2.今月のセルフモニタリングのチェック項目について 1 月度に確認すべきチェックリストの項目を確認した。						
3.経営に関する業務 ①1 月度の CPS の財務状況を確認した。 ②新型コロナ対策として、終末処理場に来客用の非接触型検温器が設置されたことを確認した。 ③終末処理場法定水質検査 (その 2) 業務の委託契約内容を確認した。 ④1/13 に開催された第 4 回高知県下水道シンポジウムで、CPS の業務概要等について講演を行ったとの報告を受けた。なお、このシンポジウムでは市も講演を実施している。 ⑤1/21 に地域貢献活動の一環として行われた、終末処理場周辺の清掃活動の内容を確認した。						
4.汚水管渠 ①1 月は、日降水量 100mm を超える日がなかったため、大雨後の巡視は実施していないことを確認した。また管路閉塞リスク対象路線に関し 3 路線 7 人孔の点検内容の報告を受け、緊急の修繕を要するものではないが、マンホール内の浸入水跡を確認した。 ⇒ 浸入水跡が確認されたマンホールをリストアップし、大雨後には開蓋し点検を行うよう依頼した。						
②道路陥没リスク箇所を対象に実施された、汚水管渠 TV カメラ調査結果を確認した。						
(次項へ続く)						

打合せ事項、対策・合意事項等
⇒ 調査作業者によって、緊急度判定に差が出る可能性があるため、ストックマネジメント計画を踏まえ、緊急度判定手法の標準化を検討するよう依頼した。
<b>5.雨水管渠</b>
①マンホール内部の巡視・点検結果を確認した。今回点検したマンホールは、設置後40年以上が経過しており、緊急に修繕を要するものではないが、全体的に劣化が進行していることを確認した。 ②西糺排水区の雨水管調査により、管の欠損部から地下水が噴出していることを確認した。
⇒ 現在、欠損箇所に詰め物をして仮止水しており、止水工事を依頼した。
<b>6.終末処理場</b>
①流入水量及び降水量をグラフから、1月後半の降雨により流入水量の増加が見られたことを確認した。 ②放流水質は、全項目で目標値を満足していることを確認した。 ③1/8に発生した管廊誘導灯の不具合が、修繕されていることを確認した。 ④1/11、初沈汚泥引抜ポンプで汚水漏れが発生し、運転を停止している。
⇒ 現在は、もう片方の引抜ポンプの単独運転で対応しており、不具合箇所の調査を依頼した。
⑤1/19、再利用水設備から、凍結が原因と考えられる水漏れが発生した。 ⑥1/25、消防設備点検により、検知器2箇所に不具合が発見された
⇒ ⑤、⑥共に、バルブ・器具等の交換により、不具合が解消したことを確認した。
<b>7.クリーンセンター横浪</b>
①浸出水処理施設の放流水質は、全項目で基準値を満足していることを確認した。 ②リサイクルプラザ及び浸出水処理施設の修繕推奨機器リストに変更がないことを確認した。
<b>8.漁業集落排水処理施設</b>
①1/12、1/25に実施された対象5地区の施設の点検内容を確認した。 ②1/7、池ノ浦地区で停電が発生したが、1時間程度で復旧し、停電による異常は見られなかったことを確認した。 ③1/15、蜂ヶ尻地区の放流水槽のフロートスイッチの故障が発生したため、フロートスイッチの交換を行ったことを確認した。
<b>9.雨水ポンプ場</b>
①対象5機場の月点検結果を確認した。 ②修繕推奨機器リストに変更がないことを確認した。

(次項へ続く)

打合せ事項、対策・合意事項等
10.その他、連絡確認事項
①新年度に向けて、任意事業、附帯事業について検討を進めるよう依頼した。
②須崎市に大学の研究機関から、須崎 PFI 事業を研究素材として利活用したいとの打診があり、CPSにも協力を依頼した。
③3/3 のドローン公開デモンストレーションに関し、当日の進行と説明を依頼した。
④3/15 に予定されている、京都大学と高知大学の終末処理場 DHS 等の視察に関し、クリーンセンターの視察も予定されているため、CPSに同行を依頼した。
⑤モニタリング定例会の愛称に関し、近日中に市からネーミング案を提示することを説明した。
⑥次回モニタリング定例会の日程調整を行った。
(以上)

# 須崎市公共下水道施設等運営事業

## モニタリング定例会資料

(令和 3 年 1 月度)

令和 3 年 2 月 24 日

 株式会社クリンパートナーズ須崎

## 【 目 次 】

1	出席者 .....	1
2	開催場所、日時 .....	1
3	セルフモニタリングについて .....	2
4	経営のモニタリング結果（令和3年1月度） .....	3
4.1	財務管理 .....	3
4.2	内部統制 .....	3
4.3	社外委託 .....	3
4.4	情報公開 .....	3
4.5	地域貢献 .....	4
5	維持管理のモニタリング結果（令和3年1月度） .....	5
5.1	汚水管渠 .....	5
5.2	雨水管渠 .....	19
5.3	終末処理場 .....	36
5.4	クリーンセンター横浪 .....	39
5.5	漁業集落排水処理施設 .....	42
5.6	雨水ポンプ場 .....	44
6	その他連絡事項 .....	46

## 1 出席者

団体	所属	出席者
須崎市	建設課	5名
	環境保全課	1名
	農林水産課	1名
株式会社クリンパートナーズ須崎 (CPS)	取締役	1名
	企画管理部	2名
	調査計画部	
	施設管理部	3名

## 2 開催場所、日時

場所：須崎市役所 会議室

日時：令和3年2月24日（水）13時30分～

### 3 セルフモニタリングについて

今月の CPS によるセルフモニタリングは、主に以下の内容について行った。

(1月度の確認チェックリストは末尾に添付)

また、2/15 に行ったセルフモニタリングにおける主な確認内容を次項以降に記載した。

表 3-1 セルフモニタリング確認表 (R3 年 1 月度)

種別	項目	1月度確認チェックリスト項番
経営	第三者委託	1-3、1-5
	財務状況	1-6、1-7、1-8
	内部統制	1-11、1-13、1-14
	情報公開	1-16
	技術管理	1-17
	地域貢献	1-20
維持管理	リスク管理	2-3
	汚水管渠	2-13
	終末処理場	終-4、終-5、終-6、終-7、終-8、終-10
	漁集処理場	漁-1、漁-2、漁-3、漁-4、漁-5、漁-6、漁-10
	クリーンセンター横浪	CC-4、CC-5、CC-6、CC-7、CC-9
	雨水ポンプ場	雨P-1、雨P-2、雨P-6、雨P-7、雨P-11
	雨水管渠	雨管-4、雨管-5、雨管-7、雨管-8、雨管-10
附帯、任意	1月度該当なし	同左

## 4 経営のモニタリング結果（令和3年1月度）

### 4.1 財務管理

#### 1) 収支結果（令和3年1月度）

- ・1月度の単月収支と累計収支を示した。

### 4.2 内部統制

#### 1) CPS の新型コロナウィルス対策

CPS が行っている主な新型コロナウィルス対策としては以下の通りである。

なお、冬場のインフルエンザ対策についてもほぼ同様の内容となるため、継続して対策を行うものとする。

- ・維持管理を担う社員の居室を 1F と 2F に分けて感染リスクを分散する。
- ・ミーティング時には社員間の距離を確保する。
- ・居室入り口に消毒液を設置し小まめに使用する。
- ・マンホール内点検時、処理場施設点検時には必要に応じてフェイスシールドを装着する。
- ・新たに須崎市終末処理場来客用の検温器を管理棟エントランスに設置。

#### 2) 法令順守

- ・現段階において法令に違反するような事項は確認されていない。（特に就業表にて労基法違反等がないか確認）
- ・C P S コンプライアンスマニュアルを基に、1/27 に終末処理場勤務社員、1/28 にクリーンセンター横浪の勤務社員を対象に、第 4 回の勉強会（主に独占禁止法について）を行った。

### 4.3 社外委託

- ・社外委託として、須崎市終末処理場法定水質検査（その 2）の委託契約を行った。

（作業期間：令和3年2月1日～2月25日）

### 4.4 情報公開

- ・1月 13 日に、高知大学において開催された「高知から発信する下水道の未来 第 4 回シンポジウム 小規模自治体における下水道事業の未来」において、本コンセッション事業の C P S 業務概要等に関してウェビナー方式による説明を行った。（市建設課、西村参事も同会にてご講演）
- ・CPS ホームページに、過去の定例会の概要（議事録）、施設の維持管理状況（放流水質等）をアップしている。

#### 4.5 地域貢献

1月21日（木）の午後、C P S社員により、地域貢献の一環として須崎市終末処理場の周辺道路のごみ拾い、雑草除去等の清掃活動を行った。この活動状況（写真等）については、C P Sホームページに掲載している。



図 4-1 清掃活動位置図（出典：国土地理院ウェブサイト、空中写真を加工して作成）



図 4-2 清掃活動状況写真

## 5 維持管理のモニタリング結果（令和3年1月度）

以下に、令和3年1月度における維持管理状況のモニタリング結果を示した。  
確認はチェックリストにより行い、確認資料の抜粋編を以下に記載した。  
※点検管理内容の詳細は、別添の各施設管理月報、日報資料参照

### 5.1 污水管渠

汚水管渠の維持管理として、当面は主に、平成29年度に実施された汚水管渠劣化調査結果を基に、以下の対象箇所の点検調査を優先的に行う。

表 5-1 点検・調査集計表

①道路陥没リスク			②管渠閉塞リスク			③-1影響度の大きい管路 (幹線管渠)			③-2影響度の大きい管路 (県道下管渠)			④腐食環境下路線 (急勾配直下管渠)		
路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長
1-0-2	HP600	10.76	5-0-13	VU200	63.45	1-0-2	HP600	155.9	5-1-3	HP250	47.55	5-6-1-1	VU200	16.35
5-0-11	VU200	52.5	5-0-13	VU200	48.05	1-0-2	HP800	99.25	5-1-4	VU200	40.55	5-5-2	VU200	22.7
5-0-1bs	VU200	24.9	5-0-1bs	VU200	33.9	1-0-3	HP600	25.35	5-1-5	VU200	23.7	5-5-5	VU200	64.4
5-0-1cs	VU200	29.95	5-6-1-1	VU200	48.95	1-0-3	VU600	28.7	5-1-6	VU200	142.45	5-5-7	VU200	37.8
5-1-2	HP250	64.55	5-6-3a	VU200	23.05	5-0-1a	VU300	56.1	5-1-1-1	VU200	78.15	5-5-8	VU200	39.9
5-0-2bS	VU200	24.95	5-7-1b	VU200	96.95	5-0-1b	VU300	60.05	5-1-4-1	VU200	64.35	5-5-9	VU200	33
5-0-2cS	VU200	35.25	5-8-1	VU200	32.2	5-0-1c	VU300	60.15	5-1-4-3	VU200	102.45	5-5-3-2	VU200	44.2
5-2-1-1a	VU200	12.85	5-9-3	VU200	26.55	5-0-1d	VU300	64.05	5-1-4-2	VU200	38.15	5-5-3-3	VU200	113.6
5-0-6-cS	VU200	30.85	5-9-4	VU200	61.55	5-0-2a	VU300	6.65	5-2-1	VU200	35	5-5-5-2	VU200	37.95
5-9-8-1	VU200	18.1	5-9-4-2	VU200	13.05	5-0-2b	VU300	52.55	5-2-2	VU200	80.35			
5-9-1-1	VU200	32.4	5-5-3	VU200	11.7	5-0-2c	VU300	58.15	5-8-1	VU200	64.15			
5-9-5-1-1a-1	VU200	33	5-5-4	VU200	13.55	5-0-3	VU250	38.05	5-4-1a-1	VU200	61.5			
5-11-1	VU200	36.95	5-5-6	VU200	64.2	5-0-4	HP250	38.35						
5-11-4a	VU200	26.3	5-5-10c	VU200	17.65									
5-11-4b	VU200	25.7												
5-11-3-1	VU200	30.6												
5-5-10a	VU200	18.35												
5-5-3-1-1	VU200	33.85												
5-5-3-4	VU200	10.85												
5-5-4-1b	VU200	17.5												
延長計	570	延長計	555	延長計	743	延長計	778	延長計	410					

※1:①、②は、H29年度実施の汚水管渠劣化調査結果より集計。

※2:③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。

※3:延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号(優先度高)で計上。

## 1) 大雨時の巡視

### ・対象箇所

降雨後の巡視は、日降水量 100mm 以上を目安に実施しており、1 月度は、1 月 23 日（土）の日降水量 32.5mm（気象庁データ）が最大量であった。従って、1 月度の巡視・点検は実施していない。

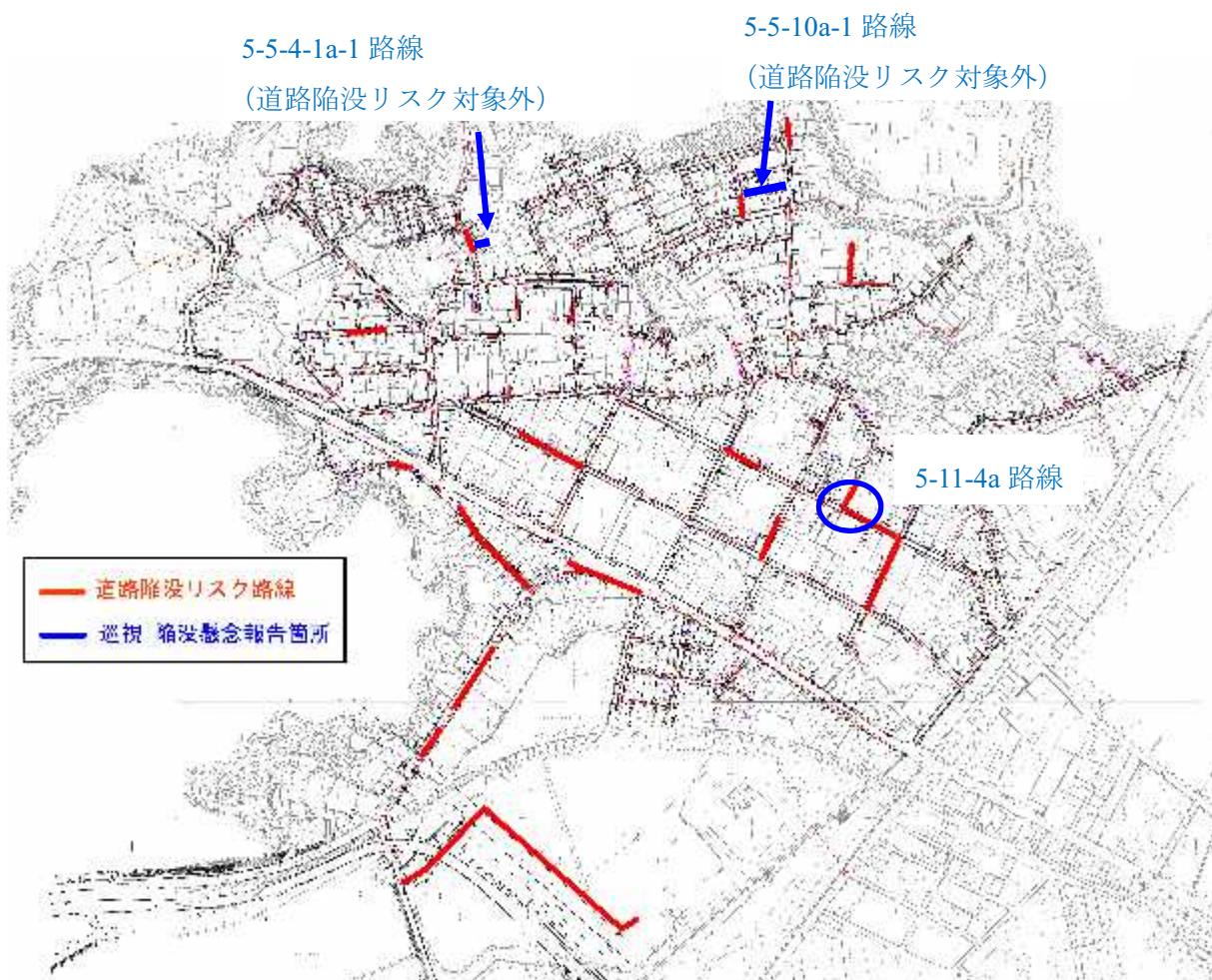


図 5-1 全体平面図

## 2) 管路閉塞リスク箇所の巡視・点検

### ・対象箇所

汚水管渠及び人孔の巡視・点検として、管路閉塞リスクが高いとされている路線について、1月27日に実施した。(次項、位置図参照)



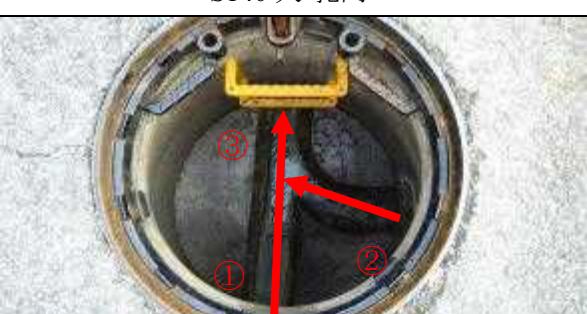
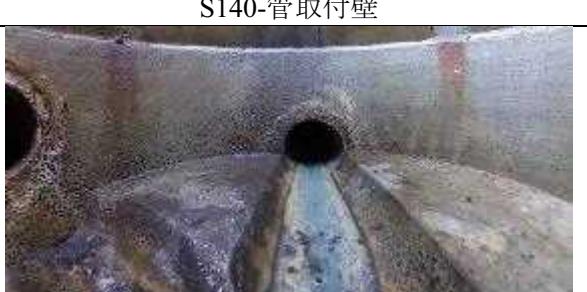
図 5-2 対象路線位置

### ・点検結果（特記事項）

次項から、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、各路線の特記事項を記す。

また、巡視・点検内容は、「下水道維持管理指針（実務編）2014年版」に基づき、実施した。

路線全体の巡視・点検内容は、月間報告書に整理する。

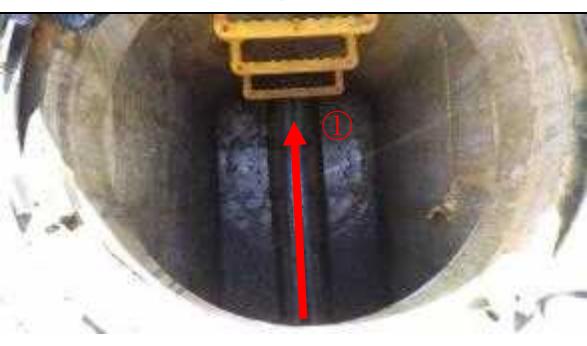
5-6-1-1 路線 S140 人孔	S140-マンホール蓋
	
S140 人孔内	S140-斜壁
	
S140-管取付壁	S140-①上流管口
	
S140-②取付管管口	S140-③下流管口
	

5-6-1-1 路線 S128 人孔	S128-マンホール蓋
	
S128-人孔内	S128-受桿
	
S128-管取付壁	S128-①上流 (5-6-1-1 路線) 管口
	
S128-②上流 (5-6-2a 路線) 管口	S128-③下流管口
	

<p>5-6-3a 路線 S152 人孔</p>	<p>S152-マンホール蓋</p>
<p>S152-人孔内</p>	<p>S152-斜壁</p>
<p>S152-管取付壁</p>	<p>S152-①上流管口</p>
<p>S152-②取付管管口</p>	<p>S152-③下流管口</p>

5-6-3a 路線 S151 人孔	S151-マンホール蓋
S151-人孔内	S151-斜壁
S151-管取付壁	S151-①上流 (5-6-3a 路線) 管口
S151-②上流 (5-6-2-1 路線) 管口	S151-③下流管口

5-7-1b 路線 S165 人孔	S165-マンホール蓋
	
S165-人孔内	S165-調整リング
	
S165-斜壁	S165-軀体ブロック
	
S165-①下流管口	
	

<p>5-7-1b 路線 S164 人孔</p> 	<p>S164-マンホール蓋</p> 
<p>S164-人孔内</p> 	<p>S164-人孔内</p> 
<p>S164-斜壁</p> 	<p>S164-軀体ブロック</p> 
<p>S164-①下流管口</p> 	

<p>5-7-1b 路線 S131 人孔</p> 	<p>S131-マンホール蓋</p> 
<p>S131-人孔内</p> 	<p>S131-調整リング</p> 
<p>S131-斜壁</p> 	<p>S131-①上流 (5-7-1b) 管口</p> 
<p>S131-②上流 (5-7-1a) 管口</p> 	<p>S131-②下流管口</p> 

各路線各人孔内点検における異常箇所を以下に示す。

**【5-6-1-1 路線】**

- ・S140 人孔：直壁目地に浸入水跡あり
- ・S128 人孔：マンホール据付跡未補修（浸入水跡はなし）

**【5-6-3a 路線】**

- ・S152 人孔：異常なし
- ・S151 人孔：異常なし

**【5-7-1b 路線】**

- ・S165 人孔：下流側管口に浸入水跡あり
- ・S164 人孔：下流側管口に浸入水跡あり  
　　ブロック目地緩衝材の露出
- ・S131 人孔：直壁目地に浸入水跡あり

管渠の流下能力やマンホールの機能を阻害するような損傷ではないため、補修に緊急を要するものではないが、組立マンホールブロックの据付目地部分の損傷や浸入水の可能性があるため、補修方法の検討を行う。

### 3) 污水管渠テレビカメラ調査結果

本業務は、前回調査時の資料から緊急度が高く判定されている区間を選定し、管路施設のテレビカメラ調査を行うことで、異常内容の進行度や現状の把握を行い、今後の必要な対策を講じるための基礎資料とするものである。

調査路線は、H29年度汚水管渠劣化調査において、道路陥没リスクが高いと判定された17路線とした。

調査結果から判定した緊急度の内訳は、下記の通りである。

判定	スパン数
緊急度 I	5
緊急度 II	10
緊急度 III	2

本調査業務における緊急度は、緊急度Ⅰと緊急度Ⅱが大半であるが、大きな破損や激しい浸入水を伴う緊急度Ⅰではないため、緊急に検討・対策を必要とするスパンは見受けられないが、計画的に検討し、早期な対策を講ずる必要がある。

また今後も活荷重等による地盤変動等や経年による異常箇所の発生及び進行等が予想されるところから、緊急度Ⅱ及び緊急度Ⅲとともに今後も継続して定期的な清掃・調査を行うことで管路の状態を把握し、ストックマネジメント計画とも調整し、修繕・改築工法による管路施設の維持管理を検討することが望ましい。

浸入水については、特に雨天時や満潮時に処理場への流入が多くなることが予想されることや管路周辺の空洞化が懸念されることから、布設替工法もしくは、部分補修による修繕や更生工法による改築等を検討することが望ましい。

以下に、緊急度判定基準例を示す。

表 5-2 緊急度判定基準例

次項から、調査路線ごとの緊急度判定一覧表及び緊急度判定位置図を添付する。

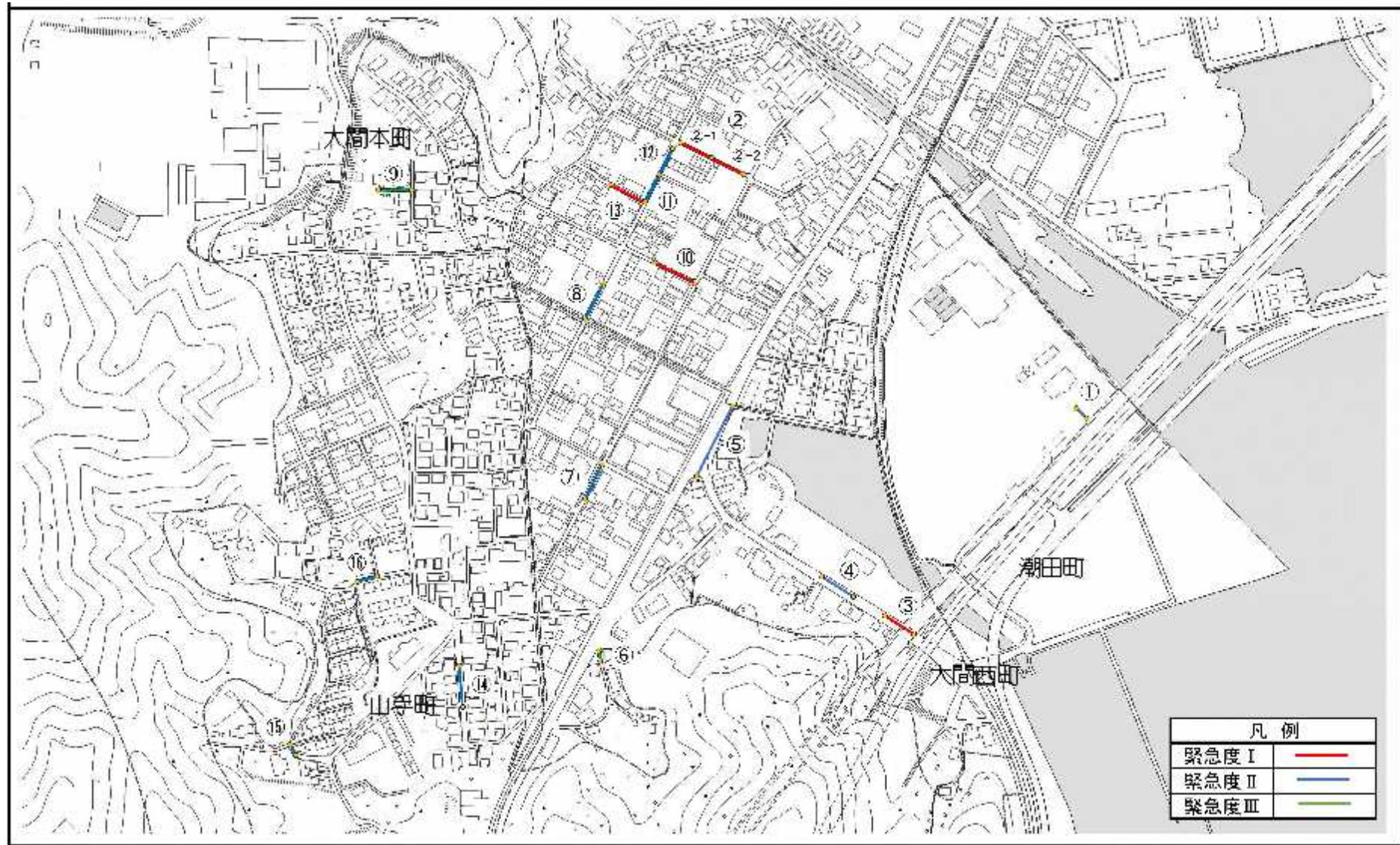


図 5-3 緊急度位置図

表 5-3 緊急度判定一覧表

No.	路線番号	人孔番号		管径 (mm)	管種	管本数	布設 年度	スパン全体で評価			管1本ごとに評価															合計			緊急 度 判 定																	
		上流	下流					管の腐食	上下方向 のたるみ			破損			クラック			継手ズレ			偏平			変形			浸入水			取付管突出し			樹木根侵入			モルタル付着			不良管本数			スパン 評価				
									a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	a + b	a + b + c														
1	1-0-2	S1	S0	10.94	600	HP	5	B	B			1	1																1	2		20.0%			B	3	II									
2	5-0-11	S33	S32	27.00	200	VU	7	-	A									1	5												1	5	4	14.3%	71.5%		A	2	I							
3	5-0-11	S32	S31	25.50	200	VU	7	-	A								1	4												1	4		14.3%	57.2%		A	2	I								
4	5-0-1bS	S47	S10	24.9	200	VU	7	-	A	1																			1	1	1	14.3%			A	2	I									
5	5-0-1cS	S48	S11	30.00	200	VU	10	-	B																										C	1	1	II								
6	5-1-2	S51	S50	64.45	250	HP	33	B	C	1																				1	1	2	3.1%			A	1	1	II							
7	5-2-1-1a	S113	S112	12.65	200	VU	5	-	C																										C	2	III									
8	5-0-6-cS	S22	S167	31.15	200	VU	10	-	B									1															3	10.0%	20.0%	B	2	II								
9	5-9-1-1	S189	S177	32.35	200	VU	10	-	B									3																	4	40.0%		C	1	1	II					
10	5-9-5-1-1a-1	S230	S227	32.75	200	VU	10	-	C																									1	10.0%		B	1	1	III						
11	5-11-1	S240	S27	36.90	200	VU	11	-	A																						6	1	1	7	1	63.7%	A	2	I							
12	5-11-4a	S245	S244	26.30	200	VU	9	-	B																							1			11.2%	C	1	1	II							
13	5-11-4b	S246	S245	25.67	200	VU	8	-	A																											C	1	1	II							
14	5-11-3-1	S255	S244	30.75	200	VU	10	-	A										6	2	2												4	6	40.0%	20.0%	A	2	I							
15	5-5-3-1-1	S353	S352	33.90	200	VU	11	-	B																							2		18.2%		B	2	II								
16	5-5-3-4	S357	S356	10.82	200	VU	5	-	C																						3		40.0%		A	1	1	II								
17	5-5-4-1b	S372	S371	17.45	200	VU	7	-	B																					1	2		3		28.6%		B	2	II							

## 5.2 雨水管渠

雨水管渠の維持管理については、当面は主に、市が重要な管渠として指定している雨水幹線、ポンプ場の流入渠、放流渠を重点路線とし、以下の対象路線の巡視・点検調査を優先的に行う。  
(次項、位置図の赤色で示された路線)

また、その他の管渠（暗渠のみ、位置図の青色で示された路線）についても、整備当初から40年以上経過した管渠もあり、道路陥没等の人心や都市機能に重大な影響を及ぼしかねない恐れがあるため、重点路線と合せて順次、巡視・点検を行う。

表 5-4 点検・調査の重点路線

排水区の名称	幹線、ポンプ施設の名称
多ノ郷排水区	西崎第2幹線
	終末処理場内ポンプ場の流入渠
大間排水区	大間ポンプ場の流入渠
山下排水区	山下幹線
朝ヶ谷排水区	朝ヶ谷幹線
須崎排水区	須崎ポンプ場の流入渠、放流渠
須崎西部排水区	須崎西部ポンプ場の流入渠
浜町排水区	浜町ポンプ場の流入渠

要求水準書に基づき、対象路線の下記業務について年2回の調査を行う。

- ①マンホール蓋の巡視・点検業務（圧力マンホール）
- ②マンホール内目視確認業務（圧力マンホール以外）

なお、今後の管渠調査計画としては、維持管理業務開始から2年以内に、主に重点路線を対象とした劣化調査（ドローン等を活用）を行い、管路の損傷状況等について整理する。

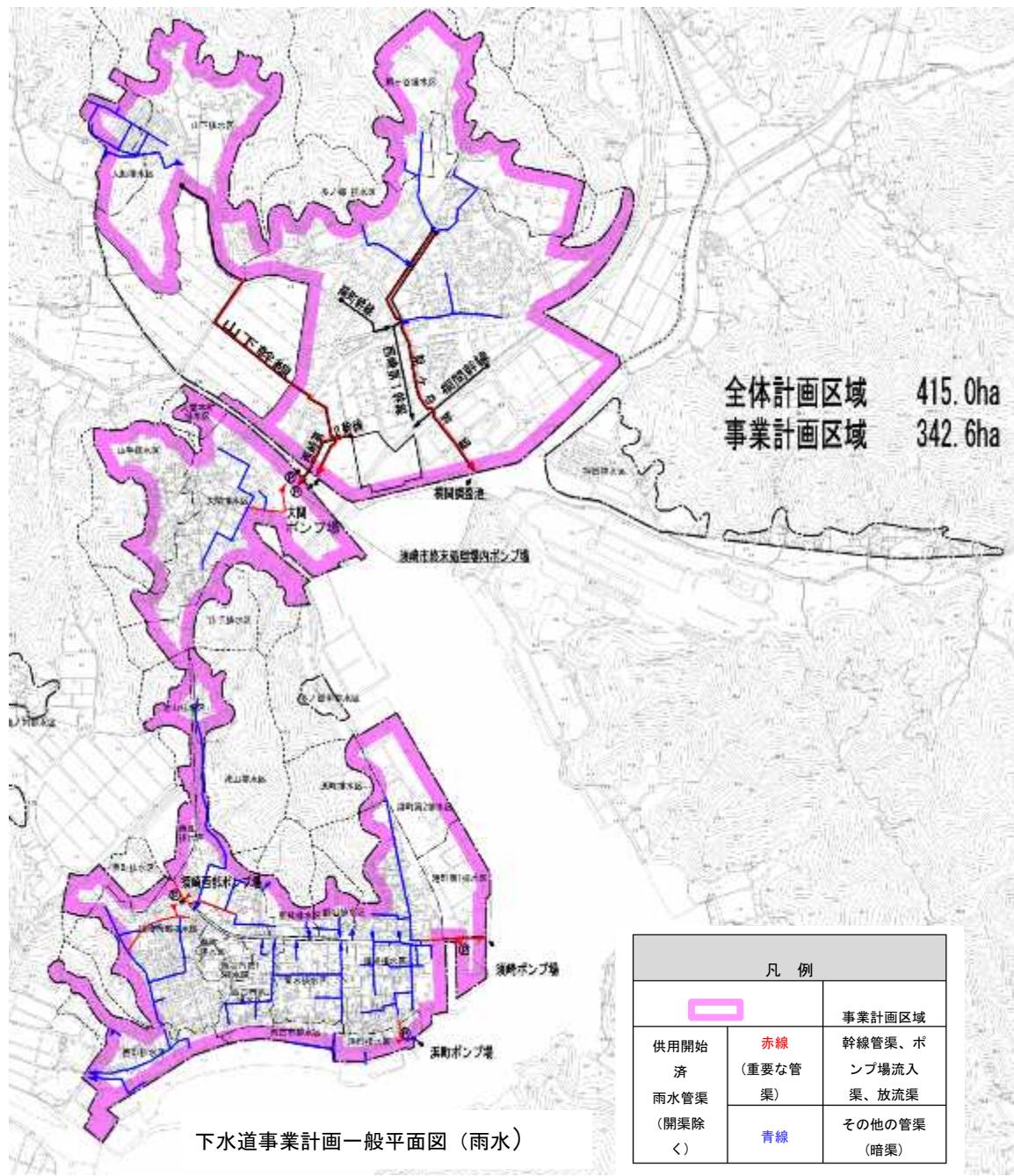


図 5-4 全体位置図

## 1) マンホールの巡視・点検

今回1月度の巡視・点検では、次項に示す路線のマンホールの巡視・点検を実施した。

マンホールの巡視・点検における判定基準は以下のとおりとし、巡視におけるマンホールの状態を一覧表に整理する。

表 5-5 マンホールの点検及び調査における判定基準

部位		異常項目	判定基準			
			Aランク	Bランク	Cランク	
蓋及び路面	路面	路面状況	舗装版にクラックや欠けがあり、通行に支障を来たす	段差が生じている、擦付けが悪く水がたまる	蓋上部に水がたまる、道路との擦付けが悪い	
	蓋受枠	蓋違い、ガタツキ	開閉できない	ガタツキがある	—	
		蓋の破損・劣化	蓋・受け枠にクラックや欠けがある	—	—	
		蓋の摩耗	表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ2mm以下)	摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2~3mm以下)	摩耗が小(車道部の蓋溝高さ:2~3mm以上)	
		蓋裏の錆	—	多量発錆	少量発錆	
人孔全体		腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ	
二次製品及び現場打部		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)	
		クラック	全体がクック(人孔全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(人孔半周、幅2mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)	
		隙間・ズレ	壁厚を超えて脱却	壁厚の1/2以上のズレ	壁厚の1/2未満のズレ	
		浸入水	噴き出している状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10~50%未満	内径の10%未満	
付帯物		調整部	調整モルタル及びリングが破損・欠落	調整モルタル及びリングのずれ・クラック	調整モルタル及びリングのずれ	
		足掛金物(残存数)(本樹脂被覆)	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生	
		インパート	—	インパートがない	部分的な欠落	
管口部		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)	
		クラック	管口周り全体にクラック(5mm以上)	部分的にクラック(管口半周、幅2mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)	
		本管突出・抜出し	100mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障を来たす	50mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障を来たす	50mm未満突出・抜出しがあり、流下に支障を来たす	
		浸入水	噴き出している状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10~50%未満	内径の10%未満	
その他	臭気	ある	—	—	—	

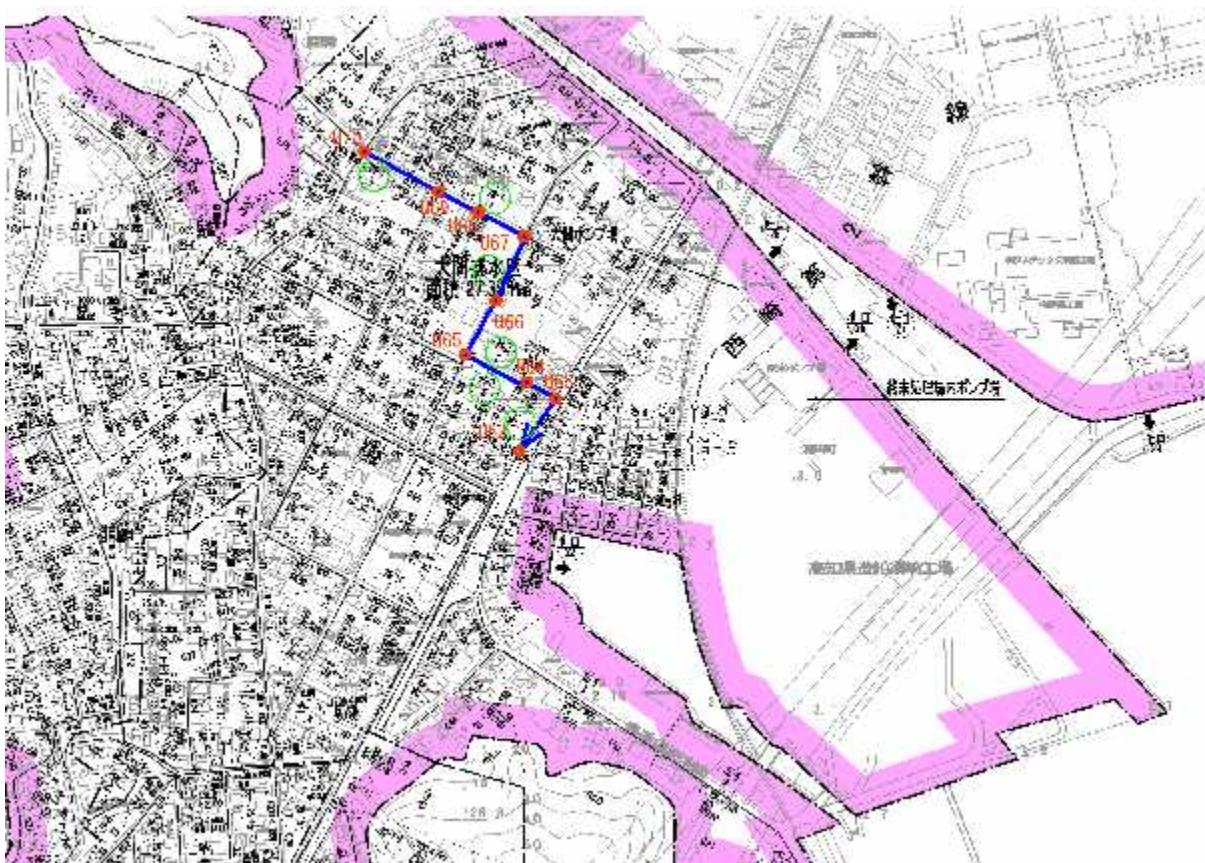


図 5-5 巡視・点検位置図（大間排水区）

・点検結果（特記事項）

次項から、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、各マンホールの特記事項を記す。

また、巡視・点検内容は、「下水道維持管理指針（実務編）2014年版」に基づき、実施した。

全体の巡視・点検内容は、月間報告書に整理する。

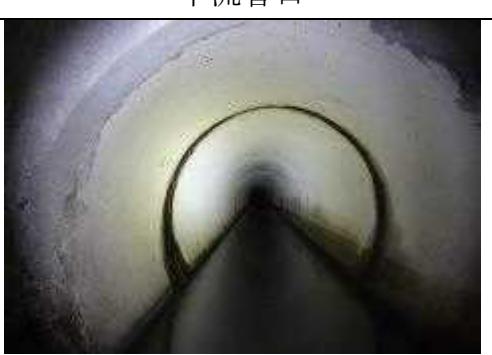
大間排水区 U70 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	
	

大間排水区 U69 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U68 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U67 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U66 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U65 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	人孔内
	
上流管口	下流管口
	

大間排水区 U64 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U63 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	上流管口
	
下流管口	側溝取込み
	

大間排水区 U62 人孔	マンホール蓋
	
調整リング	人孔内
	
人孔内	人孔内
	
上流管口	下流管口
	

各人孔内点検における異常箇所を以下に示す。

#### 【大間排水区】

- ・ U70 人孔 : 直壁部に骨材露出、クラックあり
- ・ U69 人孔 : 直壁部に欠落、クラックあり、浸入水の流れている状態
- ・ U68 人孔 : 軽微ではあるが、クラック、表面荒れ等あり、浸入水がにじんでいる状態
- ・ U67 人孔 : 直壁部に欠落あり
- ・ U66 人孔 : 直壁部に骨材露出あり
- ・ U65 人孔 : 斜壁部に欠落あり  
タラップ腐食
- ・ U64 人孔 : 斜壁部に骨材露出、欠落あり  
直壁部に鉄筋露出、欠落あり
- ・ U63 人孔 : 斜壁部に欠落あり  
直壁部に鉄筋露出、欠落、クラックあり
- ・ U62 人孔 : 斜壁部全体に亀裂あり  
直壁部全体に亀裂、クラックあり、浸入水の流れている状態  
タラップ腐食

今回点検を行った人孔の設置年度は、1977～1978年であり、設置後40年以上が経過しており、非常に劣化している状況であった。点検時には、土砂の堆積や浸入水が噴出している状態は確認されなかったものの、今後、道路陥没の起因となる可能性があるため、継続的な点検と補修方法の検討を行っていく。

表 5-6 マンホールの巡視・点検結果集計表

排水区	幹線	路線番号	管種・管径(計画)	延長(計画)	人孔番号	蓋及び路面				人孔全体	二次製品及び現場打部					付帯物			管口部				その他	緊急度判定			
						路面		蓋・受枠			破損	クラック	隙間・ズレ	浸入水	木根侵入	調整部	足掛金具	インバート状況	破損	クラック	本根突出・抜虫	浸入水	木根侵入	臭気			
						路面状況	蓋違いがたつき	蓋の破損劣化	蓋の摩耗	蓋裏の錆	腐食	破損	クラック	隙間・ズレ	浸入水	木根侵入	調整部	足掛金具	インバート状況	破損	クラック	本根突出・抜虫	浸入水	木根侵入	臭気		
大間	その他の路線	25-3-1	φ 600	77.20	U62	状態	-	なし	なし	摩耗小	多量発錆	表面荒れ	全体亀裂	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	クラック	鉄筋細	-	全体亀裂	2~5mm	わずか	流れている	なし	なし	II
	その他の路線	25-7-1	φ 1100			判定	-	-	-	C	B	C	B	C	C	-	C	B	-	B	A	C	B	-	-		
	その他の路線	25-7-2	φ 1100	77.20	U63	状態	-	なし	なし	摩耗小	少量発錆	鉄筋露出	欠落・陥没	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	クラック	足掛なし	なし	欠落	5mm以上	わずか	にじんでいる	なし	なし	I
	その他の路線	25-7-2	φ 1100			判定	-	-	-	C	C	A	A	C	C	-	C	-	B	A	C	C	C	-	-		
	その他の路線	25-7-2	φ 1100	96.75	U64	状態	-	なし	なし	摩耗小	少量発錆	鉄筋露出	欠落・陥没	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	クラック	異常なし	なし	欠落	2mm未満	わずか	なし	なし	なし	I
	その他の路線	25-7-3	φ 800			判定	-	-	-	C	B	C	A	C	C	-	C	-	B	A	C	C	C	-	-		
	その他の路線	25-7-3	φ 800	U65	U66	状態	-	なし	なし	摩耗小	多量発錆	表面荒れ	欠落・陥没	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	クラック	鉄筋細	なし	軽微	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	なし	I
	その他の路線	25-7-3	φ 800			判定	-	-	-	C	B	C	A	C	C	-	C	B	B	C	C	C	C	-			
	その他の路線	25-7-4	φ 900	70.35	U67	状態	-	なし	なし	摩耗小	多量発錆	表面荒れ	軽微	2mm未満	なし	にじんでいる	なし	クラック	錆	なし	軽微	2mm未満	わずか	にじんでいる	なし	なし	I
	その他の路線	25-7-4	φ 900			判定	-	-	-	C	B	C	C	C	C	-	C	C	B	A	C	C	C	-			
	その他の路線	25-7-5	φ 900	54.00	U70	状態	-	なし	なし	摩耗小	少量発錆	骨材露出	軽微	2mm未満	なし	にじんでいる	なし	クラック	錆	なし	軽微	2~5mm	わずか	にじんでいる	なし	なし	II
	その他の路線	25-7-5	φ 900	U68	U69	判定	-	-	-	C	C	C	C	C	C	-	C	C	B	A	C	B	C	-			

## 2) 管渠異常箇所の報告

2/4（木）雨水管渠ストックマネジメント策定業務に係る現地調査時に、西糺排水区の雨水管渠内にて異常箇所を確認した。異常は、HP  $\phi$  1100mm の管底部に 20mm の穴があり、そこから管内に地下水が噴上げているものであった。

異常箇所の状態から、管の劣化による損傷ではなく、人為的な欠陥（管据付時の吊上金具の跡等）が異常の要因であると考えられる。

現状は、2/8（月）に CPS から管路調査業者に依頼して、仮止水している状態であり、今後簡易な止水対策を実施する予定である。

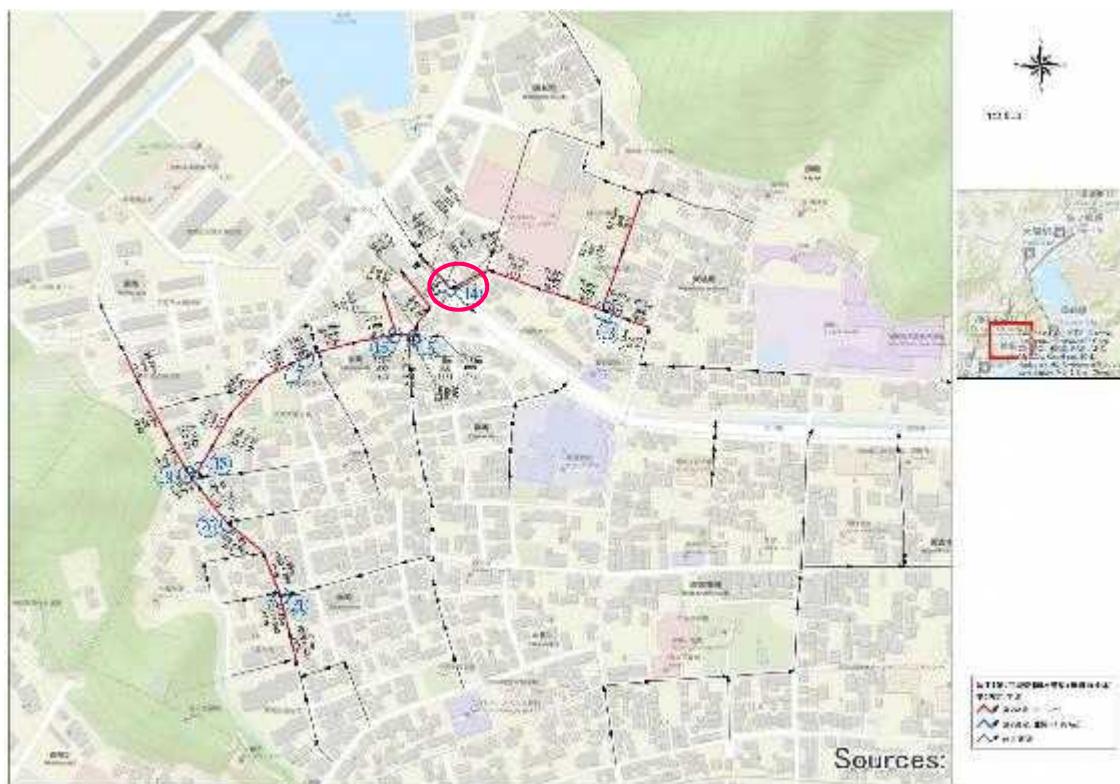


図 5-6 雨水管渠内、水噴出位置図

須崎西部排水区 雨水人孔	
	
人孔内	上流側 (HP $\phi$ 1100)
	
下流側 (HP $\phi$ 1100mm)	下流側 (HP $\phi$ 1100mm)
	
$\phi$ 20mm のコア抜き跡	仮止水完了
	

## 5.3 終末処理場

### 1) 流入水量の状況

1月の流入水量は下図の通りである。平均値が $357\text{m}^3/\text{日}$ 、最大値が $410\text{m}^3/\text{日}$ であった。

今月は、月後半に降雨があり、この影響により流入水量の増加が見られた。

また、過去5か年の流入水量、降水量の実績を添付した。今月は、過去5年間の値と比較すると、降水量、流入水量ともに平均的な値となっている。

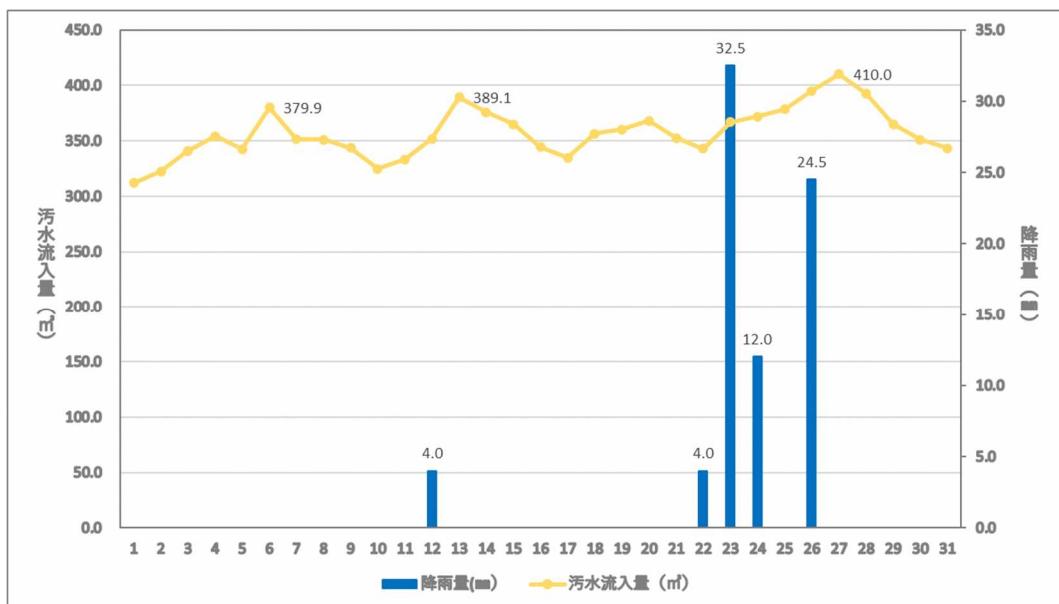


図 5-7 須崎市終末処理場の流入水量 (R3年1月)

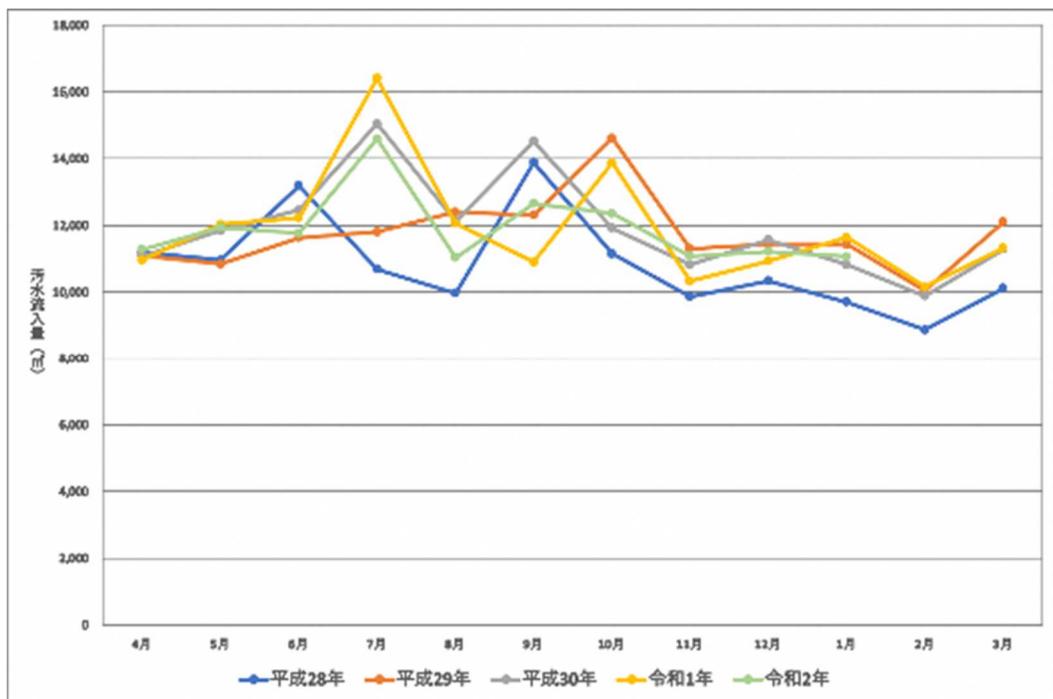


図 5-8 須崎市終末処理場の月別流入水量推移

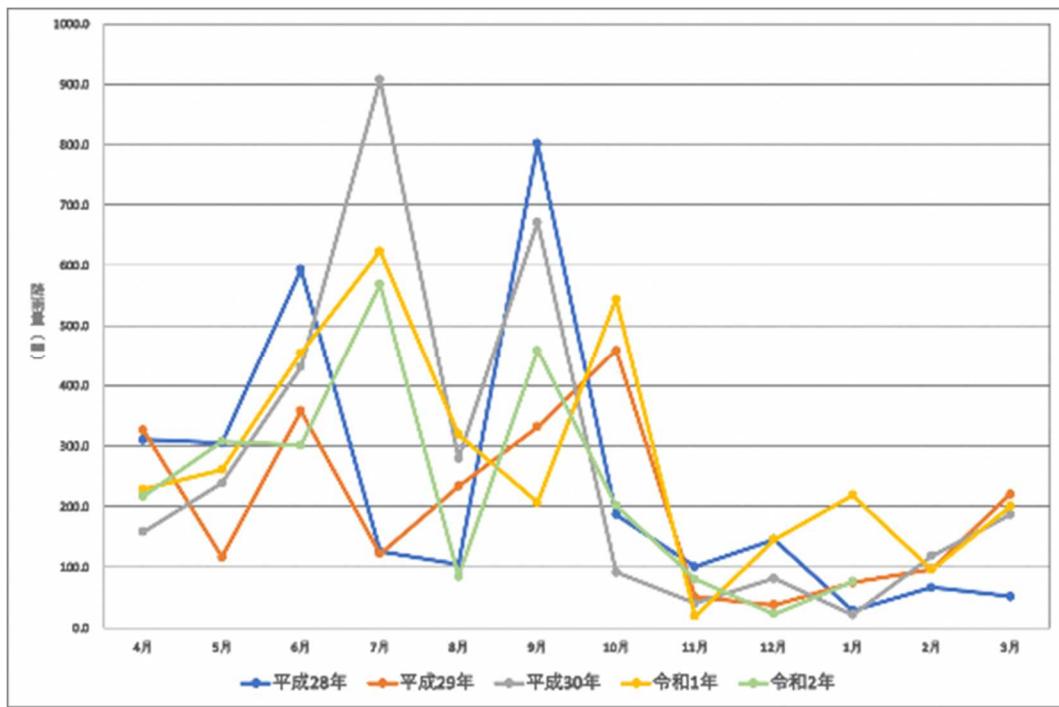


図 5-9 須崎地区月間降水量の推移（気象庁データ）

## 2) 放流水質の状況

目標値としての各水質は下表の通りであり、全項目において目標値を満足していた。

表 5-7 放流水質試験結果

水質項目	目標値	水質試験結果 (1月水質試験平均値)	備考
pH	5.0～9.0	6.8	
BOD	15mg/l以下	1.0	
SS	30 mg/l以下	4.5	
大腸菌群数	3,000 個/cm <sup>3</sup> 以下	0	

### 3) 維持管理業務について

1月に行った点検管理の実績表を添付した。

須崎市終末処理場においては特に大きな故障、緊急対応等は生じなかった。

表 5-8 終末処理場の点検管理実績表 1/2 (R3 年 1 月)

須崎市終末処理場		令和 3 年 1 月 運転管理実施表																																									
項目	日・曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日											
機器運転	機器点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
	運転日報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
	汚泥処理・脱水機運転					●			●			●			●			●		●			●				●																
	脱水ケーキ搬出																										●	●	●														
電気点検	電気点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
	汚水マンホール室フラッピング 非常通報装置点検								●										●																								
機械	点検/グリスアップ/清掃 ○ 処理棟各機器 □ 機械室各機器									●																																	
	スクリーンユニット (スカラップ)点検	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●				●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●								
	汚水スクリーン点検 し渣脱水機点検										●								●																								
	DHSヘッダー管分解清掃										●								●	●																							
	DHSろ床散水、清掃										●								●																								
	自動分析計 ○ DHSろ床処理水 分解洗浄 □ 生物膜ろ過処理					●			■			●								●		■																					
	○ DHSろ床排風ダクト清掃 □ 生物ろ過膜槽カバササ付投入								●	■											●																						
	固形塩素注入器 点検、補充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									
	平常試験									●																																	
水質分析	中試験																				●																						
	濃縮脱水試験 (月に1回、 中試験と重複しない)																																										
備考	-濃縮脱水試験は、毎月に1度実施する。供給汚泥濃度、脱水ケーキ含水率は、脱水時毎回実施。 -DHSろ床散水ヘッダー管分解清掃は、週2回、適宜汚れ具合で実施する。																																										

※1：1月の脱水ケーキ発生量は 3,358 kgで、大阪住友セメントへの搬出はなし。

※2：その他、脱水機点検、処理棟各機器点検等を実施（別途1月作業実施表参照）

### 4) 機器の点検結果による考察

- 11日に初沈汚泥引抜ポンプ汚水漏れが発生した。過去にも、し渣絡みに起因する故障が発生しており、今回もそれに類するトラブルと推測される。復旧には分解整備が必要。（更新の検討も視野に）
  - N0. 2 床排水ポンプはこれまで修繕、更新履歴がなく老朽化が見られ、大雨時に故障となつた場合に地下管廊水没の恐れがあるため、更新を推奨する。
  - N0. 1・2 ろ過水ポンプのグランド部から水漏れが発生している。メーカーによる点検、補修を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

表 5-9 修繕推奨機器リスト（須崎市終末処理場）

委託業務の名称	令和2年度 須崎市終末処理場運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目			2021年2月10日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	推奨内容	備考
令和3年2月24日	1	S	No.1初沈汚泥引抜ポンプ	更新or分解整備	1月11日 オイル注入口より汚水漏れ
令和2年5月20日	2	A	No.2床排水ポンプ	更新	
令和2年5月20日	3	B	No.1、2ろ過水ポンプ	更新or運用変更	
令和2年12月23日	4	B	DHS散水装置アクリル蓋	交換	経年劣化のため
備考	緊急度の判定基準 S : 不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの A : 不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく1年以内を目処に実施を要求するもの B : 水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後2~3年以内に実施を要求するもの C : 直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5年程度内に実施を要求するもの				

## 5.4 クリーンセンター横浪

### 1) 浸出水処理施設の放流水質の状況

毎月1回の水質検査結果は下表の通りであり、全項目について基準値を満足している。

表 5-10 浸出水処理施設の放流水質の試験結果

水質項目	基準値	水質試験結果	備考
pH	5.0~8.6	7.5	
BOD	20 mg/l以下	<0.5	
COD	20 mg/l以下	3.4	
SS	30 mg/l以下	<1	
T-N	20 mg/l以下	5.0	

※同時に原水のカルシウム、地下水の塩化物イオン濃度も測定しているが、異常値は確認されていない。

### 2) 維持管理業務について

1月に行った点検管理の実績表を添付した。

なお、不燃ごみの前処理作業として、9月に発生したリサイクルプラザの火災を受け、不燃ごみ中の小型電子機器類の選別作業を行っている。また、不燃ごみについては、破碎機ラインが使用不可のため、最終処分場に仮置きをしている状況である。

表 5-11 クリーンセンター横浪運転管理実績表 (R3 年 1 月)

須崎市最終処分場		令和 3 年 1 月 運転管理実施表																																			
項目	日・曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
機器運転	運転日誌	●			●		●			●		●		●			●		●		●		●		●		●		●								
	機器点検日誌				●							●								●																	
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 開始				●						●									●																	
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 停止							●						●							●										●						
	第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ 手動運転(5分)				●					●									●																		
	機器切替																														●						
	非常放流各弁閉鎖(遮断弁 ・仕切弁・調整槽上部)					●																															
	固形塩素注入器 点検、補充				●			●						●			●			●			●			●			●								
	凝集助剤溶解装置 ストレーナー分解清掃					●														●																	
	水質分析週報																●																				
水質分析	水質分析月報																														●						
	pH計点検							●																													
	第一混合槽pH計洗浄					●					●			●		●			●		●		●			●			●								
その他	遮水シート確認					●					●										●									●							
	汚泥貯留槽水抜き																		●																		
	場内外清掃							●		●		●		●		●										●		●		●		●					
	場内外草刈																																				

### 3) リサイクルプラザの点検結果による考察

- 空気圧縮機（コンプレッサー）運転時に異音及び油漏れ等があり、本施設は運転当初より交換等が一度も行われていないということなので、更新を推奨する。
- エアドライヤー（空気除湿器）も動作不良を起こして停止することが数回みられ、本施設も運転当初より交換等を行っていないということなので更新を推奨する。
- 資源受入れC/V及び手選別受入れC/Vの減速機は、油漏れ及び運転時のギア付近異音発生が生じている。本施設についても更新を推奨する。

表 5-12 修繕推奨機器リスト (クリーンセンター横浪)

委託業務の名称	令和 2 年度 須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務 リサイクルプラザ 修繕推奨項目					2021年2月10日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	推奨内容	備考		
令和2年12月23日	1	S	空気圧縮機（コンプレッサー）	更新	整備不備（油漏れ）		
令和2年12月23日	2	S	エアドライヤー	更新	動作不良		
令和2年12月23日	3	A	資源受入れC/V減速機	更新	油漏れ、異音		
令和2年12月23日	4	A	手選別受入れC/V減速機	更新	油漏れ、異音		
備 考	緊急度の判定基準			S : 不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの A : 不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく 1 年以内を目処に実施を要求するもの B : 水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後 2 ~ 3 年以内に実施を要求するもの C : 直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5 年程度内に実施を要求するもの			

#### 4) 浸出水処理施設の点検結果による考察

- ・No. 1 第三調整槽水中攪拌機が漏電により運転停止状態となっている。この状態が長期にわたる場合、処理水質に影響が出る可能性があるため、更新等による早期復旧を推奨する。
- ・日報作成装置の故障により、データ収集が出来ないため、更新等による早期復旧を推奨する。
- ・遮水シート漏水監視システム電極切替器の液晶表示部に複数のライン抜けがあり、システム全体に不具合がある可能性があるため、メーカーによる機能診断の実施を推奨する。
- ・脱室槽攪拌機は、運転電流値が定格を超えており、前回整備から約 15 年が経過しているため更新等を推奨する。
- ・原水ポンプは予備機が無い状態となっており、故障が生じた場合に水処理に影響が出るため、No. 1 原水ポンプの更新を推奨する。
- ・No. 1 凝集剤注入ポンプが異音により運転停止となっており、比較的安価な機器のため更新を推奨する。
- ・No. 1、2 収送ポンプの仕切弁が損傷し、スムーズに作動出来なくなっているため、交換を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを作成した。

表 5-13 修繕推奨機器リスト（クリーンセンター横浪）

委託業務の名称	令和 2 年度 須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目			2021年2月10日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	推奨内容	備考
令和 2 年 8 月 20 日	1	S	No. 2 ろ過原水ポンプ	更新	
令和 2 年 6 月 21 日	2	S	No. 1 第一調整槽水中攪拌機	分解整備or更新	更新予定（令和 2 年度設備改修工事）
令和 2 年 5 月 20 日	3	S	日報作成装置	不良箇所修理（システム更新）	
令和 2 年 5 月 20 日	4	S	給水ユニット	フレッシャー本体、ポンプ部更新	更新予定（令和 2 年度設備改修工事）
令和 2 年 6 月 21 日	5	A	遮水シート漏水監視システム	機能診断（機器作動状況点検）	20200610遮水シート漏水監視システム不具合調査報告書参照
令和 2 年 5 月 20 日	6	A	No. 2 曝気プロワ	分解整備	整備予定（令和 2 年度設備改修工事）
令和 2 年 12 月 23 日	7	A	No. 1 第三調整槽水中攪拌機	更新	No. 2 第二調整槽水中攪拌機から変更
令和 2 年 5 月 20 日	8	A	脱室槽攪拌機	分解整備or更新	
令和 2 年 11 月 20 日	9	A	再利用水給水ユニット	更新	
令和 2 年 11 月 20 日	10	A	給水ユニット受水槽	更新	
令和 2 年 11 月 20 日	11	A	逆洗ポンプ	更新	
令和 2 年 5 月 20 日	12	A	No. 1 原水ポンプ	更新	
令和 2 年 12 月 23 日	13	A	空洗プロワ	分解整備	
令和 2 年 12 月 23 日	14	A	第一凝沈～サクションホース	交換	
令和 2 年 5 月 20 日	15	B	No. 2 凝集助剤注入ポンプ	更新	
令和 2 年 5 月 20 日	16	B	No. 1・2 収送ポンプ仕切弁	交換	
備考	緊急度の判定基準 S : 不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの A : 不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく 1 年以内を目処に実施を要求するもの B : 水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後 2 ~ 3 年以内に実施を要求するもの C : 直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5 年程度内に実施を要求するもの				

## 5.5 漁業集落排水処理施設

### 1) 1月の保守点検について

5地区の対象施設の内、戸島地区を除く4地区は1月12日、25日に維持管理を行った。また、戸島地区については1月25日に保守点検を行った。

1月7日17時頃、池ノ浦で停電が発生した。約1時間後に現場到着し、停電が解消され施設に異常が無いことを確認した。

1月15日朝に蜂ヶ尻地区の住民の方から施設のパトライ特作動について通報があり現地確認を行った。原因は、浄化槽の放流ポンプ槽フロートスイッチ故障であることを確認し、市に報告後、1月21日に取替修繕を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書に定められている項目を毎月実施し、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

#### ■要求水準書の浄化槽の点検項目（毎月）

- ・浄化槽の維持管理（水質管理、機械管理、配管管理）
- ・浄化槽への薬剤投入
- ・中継ポンプ場の維持管理
- ・機器消耗品、油脂の管理

主要な点検結果は以下の通りである。

表 5-14 点検結果表

項目	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島	備考(適正值等)
放流水 透視度(cm)	1月12日	30	30	30	30	-	20cm以上
	1月25日	30	30	30	30	30	
ばつ氣槽 溶存酸素(DO)	1月12日	○	○	○	○	-	
	1月25日	○	○	○	○	○	
放流水 pH	1月12日	5.8	6.1	6.1	5.9	-	5.8~8.3
	1月25日	6.0	6.0	6.1	6.0	5.8	
消毒薬投入量	1月12日	0.5	0.5	有	0.5	-	
	1月25日	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	

表 5-15 電流値の測定結果

機器名	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島
原水ポンプ定格電流値		4.0	2.1	2.3	2.6	2.3
原水ポンプ No. 1	1月12日	2.4	1.8	1.5	2.0	-
	1月25日	2.4	1.8	1.5	2.0	1.8
原水ポンプ No. 2	1月12日	2.6	1.8	1.5	2.0	-
	1月25日	2.8	1.8	1.5	2.0	1.8
調整ポンプ定格電流値		2.2	1.5	1.3	1.7	1.3
調整ポンプ No. 1	1月12日	1.6	1.0	1.2	1.0	-
	1月25日	1.6	1.0	1.4	1.0	1.0
調整ポンプ No. 2	1月12日	1.6	1.2	1.2	1.0	-
	1月25日	1.6	1.0	1.2	1.0	1.0
放流ポンプ定格電流値		6.4	1.6	1.6	1.7	1.6
放流ポンプ No. 1	1月12日	5.9	1.2	1.2	1.0	-
	1月25日	5.8	1.2	1.2	1.0	1.2
放流ポンプ No. 2	1月12日	5.9	1.2	1.2	1.0	-
	1月25日	6.0	1.2	1.2	1.0	1.2
中継ポンプ定格電流値				5.8	6.8	6.8
中継ポンプ No. 1	1月12日			5.5	5.5	-
	1月25日			5.5	5.5	5.5
中継ポンプ No. 2	1月12日			5.5	5.5	-
	1月25日			5.5	5.8	5.6
ばっ氣槽プロア一定格電流値		8.4	3.0	6.0	6.0	3.0
ばっ氣槽プロア No. 1	1月12日	8.8	2.0	3.6	3.0	-
	1月25日	8.2	2.1	3.5	3.2	2.5
ばっ氣槽プロア No. 2	1月12日	8.2	2.2	3.4	3.4	-
	1月25日	9.0	2.2	3.6	3.0	2.4
調整プロア一定格電流値		6.0	1.6	1.8	1.8	1.6
調整プロア	1月12日	3.5	1.8	1.4	1.6	-
	1月25日	3.5	1.8	1.4	1.6	1.6

## 5.6 雨水ポンプ場

### 1) 今月の保守点検について

下表のとおりの日程で、各施設の維持管理を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書（または業務特記仕様書）に準じて行い、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

表 5-16 点検実施日（1月）

機場名	月点検	週点検	週点検	補機点検
大間ポンプ場	18日	—	—	—
公共ポンプ場	27日	—	—	—
須崎ポンプ場	8日	—	—	—
西部ポンプ場	12日	—	—	—
浜町ポンプ場	6日			

表 5-17 各ポンプ場燃料貯蔵状況（1月）

機場名	貯蔵容量	12月		1月（今月）		燃料増減
		屋外タンク (kℓ)	屋内タンク (ℓ)	屋外タンク (kℓ)	屋内タンク (ℓ)	
大間ポンプ場	10	590	9.0	590	9.0	0.0
公共ポンプ場	20	810×2	8.8	820×2	8.8	0.0
須崎ポンプ場	10	620	9.2	650	9.2	0.0
西部ポンプ場	5	580	3.2	680	3.1	0.1
浜町ポンプ場 (自家発電機)	390ℓ	390		390		0.0

\*燃料増減は、月点検時の屋外燃料タンク増減量のみの数値

## 2) 修繕推奨項目表

1月の点検結果から作成した修繕推奨機器リストを以下に添付した。

表 5-18 修繕推奨機器リスト（各雨水ポンプ場）

大間ポンプ場						
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観	
原動機 自家発	①	No.3 排気温度のバランス不良あり。燃料噴射ポンプ調整必要です。	C	O		
	②	排気温度のバランス不良あり。燃料噴射ポンプ調整必要です。	C	O		
	③	温度計故障あり。交換が必要です。	C	O		
吐出弁	④	No.3 開時、異音あり。グリス交換時期です。	C	O		
放流ゲート	⑤	放流ゲートフルボックスに腐食、破損あり。修繕が必要です。	C	O		
冷却水ポンプ	⑥	No.1ポンプの絶縁が低下しています。No.1 0.7MΩ No.2 100MΩ No.3 100MΩ	B	O		
床排出ポンプ	⑦	絶縁が低下しています。No.1 20MΩ No.2 1.5MΩ	B	O		

公共ポンプ場						
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観	
原動機	①	No.3 排気温度のバランス不良あり。燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	O		
	②	No.2・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。	C	O		
吐出弁	③	吐出弁水位計故障あり。腐食に対応した新規水位計の設置が必要です。	C	O		
放流ゲート	④	No.1・2 放流ゲート故障あり。修理が必要です。	C	O		
ポンプ	⑤	No.2 電動ポンプ軸受部、鍛多し。修理が必要です。	B	O		
空気槽	⑥	No.3 空気槽ドレン抜き弁固着あり。修理が必要です。	C	O		
冷却水ポンプ	⑦	No.3 逆止弁機能不全あり。点検整備又は交換を推奨致します。	B	O		
	⑧	絶縁抵抗測定値。No.3 100MΩ No.4 100MΩ 予備 70MΩ	B	O		
高架揚水ポンプ	⑨	絶縁が低下しています。No.1 0.4MΩ No.2 10.0MΩ	B	O		
No.3 No.4 エンジン	⑩	定格回転数900rpmに対しクラッチ接続時No.3、No.4エンジン共に690～740rpmで変動し、エンジンの回転数が上昇しません。当面は現状にて排水運転をしていただき、早期の分解整備、交換を推奨致します。 令和2年10月に報告済です。	A	O		
No.3エンジン	⑪	冷却水電磁弁空気漏れあり。交換が必要です。	B	O		
し渣スキップホイスト	⑫	故障、動作不良あり。調査、修理が必要です。	B	O		

須崎ポンプ						
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観	
外部設備	①	除塵機、沈砂搔揚機共にチェーン発錆あり。塗装(取替)の必要があります。	B	O		
放流ゲート	②	故障 動作不良あり、修繕必要です。	C	O		
原動機	③	No.2 温調弁一部固着あり。分解整備が必要です。	C	O		
吐出弁	④	No.2 運転時、異音あり。グリス交換時期です。	C	O		
冷却水ポンプ	⑤	絶縁抵抗測定値。No.2 100MΩ No.3 100MΩ	B	O		
床排水ポンプ	⑥	絶縁抵抗測定値。No.1 100MΩ No.2 100MΩ	B	O		

西部ポンプ場						
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観	
吐出弁	①	No.4 運転時、異音あり。グリス交換時期です。	C	O		
原動機	②	No.1・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。	C	O		
	③	No.2 給気圧計故障あり。交換が必要です。	C	O		
	④	No.3 溫度計故障あり。交換が必要です。	C	O		
	⑤	No.2 減速機油温計故障あり。交換が必要です。	B	O		
電気関係	⑥	電気室1号制水扉開度指示計故障あり。交換が必要です。	C	O		
流入ゲート	⑦	No.2 流入ゲート開動作時に過トルク検知あり。整備が必要です。	C	O		
沈砂搔揚機	⑧	2号水中軸上下用故障ランプ点灯、砂堆積の疑いあり。整備が必要です。	C	O		
天井水銀灯	⑨	2灯 点灯せず。交換が必要です。	C		O	
沈砂水平搬出機	⑩	現場盤、電流計故障あり。交換が必要です。	C	O		
冷却水ポンプ	⑪	No.1 ポンプ揚水能力が落ちています。今後の経過を観察します。	B	O		
	⑫	絶縁が低下しています。No.1 0.5MΩ No.2 1.0MΩ No.3 2.0MΩ	B	O		
床排水ポンプ	⑬	絶縁抵抗測定値。No.1 100MΩ No.2 100MΩ	B	O		

浜町ポンプ場						
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観	

## 6 その他連絡事項

### 1) 次回定例会日程

次回定例会議の日程を調整。